熊本地震復興支援チャリティゴルフ大会を開催

株式会社ダック技建

復興支援にかける徳永代表の想い

「熊本地震の復興支援が出来ないだろうか」と切望していた㈱ダック技建の徳永明彦代表。2月17日、熊本県出身の徳永代表の願いは「熊本地震復興支援チャリティプロアマ（会場は若松ゴルフクラブ）」という形で叶った。

今回のチャリティゴルフ開催は、さまざまなジャンルのテレビ番組に出演し、㈱ダック技建の顧問弁護士でもある北村晴男弁護士へ相談したことが発端にあった。東日本大震災後、「震災孤児支援プロアマチャリティコンペ」による支援活動を続けてきた北村弁護士の姿を見てきた徳永代表は「力を貸してほしい」と懇願。その熱い想いに北村弁護士は㈱ダック技建との共同主催を快諾した。

熊本震災時、いち早く帰郷した徳永代表は甚大な被害に愕然とし、直ちに物資支援による活動を進めた。「㈱ダック技建として物資支援をしましたが、今回は私共と縁のある関係者様にも支援活動を募りました。多くの方にご賛同をいただき、本当に感謝しております」と徳永代表。

発起人である藤池昇龍氏（九州プロゴルフ研修会会長）の協力を得て、小田孔明プロなどのプロゴルファー32名が参加。一般の部と合わせて131名（33組）の「熊本地震チャリティプロアマ」の大イベントとなった。

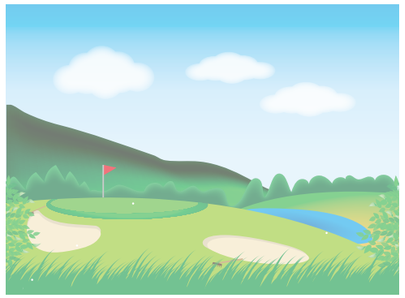
義援金130万円を御船町へ寄付

プレー後の表彰式では、主催者挨拶の後、発起人の副総理兼財務・金融担当大臣の麻生太郎氏（代理人）、藤池昇龍氏が挨拶。学校法人仰星学園の徳重光理事長の乾杯で、参加者はプレーを振り返りながら表彰式がスタートした。

司会進行を務めた金山和瑛氏（㈲ケイズ建築事務所代表）が笑いを織り交ぜながら敢闘賞、ニアピン、ドラコン賞などの受賞者を発表。プロの部では昨年12月に結婚したばかりの北村晃一プロが4アンダーで優勝賞金80万円（賞金総額570万円）を手にした。また、アマチュアの部では被災地の御船町から参加した藤本裕二氏がペア旅行券を獲得。

表彰式の最後には、会場へ駆けつけた御船町の藤木正幸町長に義援金130万円の目録が渡され、同町長は「混乱期から生活支援期に向かっています。被災した子供のために大切に使いたい。こうした支援活動は本当に有り難く思っています」と感謝の意を伝えた。

「チャリティゴルフに際し、ご協力をいただいた関係者の皆様に本当に感謝しております。一方で、チャリティゴルフを開催し、無事終えることが出来たのは社員のお陰です。今後も故郷の復興に協力していきたい」と



徳永代表。今後もプロアマ交流によるチャリティゴルフの継続に向けて強い意思を抱いている。

来年で創業20周年を迎える現在もピーク年商を更新している㈱ダック技建。社会貢献を継続するためにも、更なる事業拡大と安定経営を追求していく方針である。

【会社概要】
●名　称　株式会社ダック技建
●所在地　〒806-0067
　　北九州市八幡西区引野 2-5-6
●電　話　093-645-3233
●設　立　平成 11 年 8 月
●代表者　徳永 明彦
●業　種　管工事業
●ＵＲＬ　http://www.duckgiken.co.jp/